

日本キリスト教団 仙台青葉荘教会

週報 (簡素版)

〒980-0012

仙台市青葉区錦町 1 丁目 13-48 Tel 022-222-3855

2021年4月4日

復活節第1主日礼拝順序

司会：高橋 姉

奏楽：熊谷 姉

説教：潮 義男牧師

前 奏

招 詞

詩編 91 編 1, 2 節

讃 美 歌

146 (1, 4 節)

主の祈り

使徒信条

聖 書

ヨハネによる福音書 20 章 1 ~ 18 節

説 教

「復活」

祈 り

潮牧師

聖 歌

126 (1, 4 節)

祈 禱 (ネット配信を聴取されている方、及びこの週報で礼拝をされる方はお祈りください)

頌 栄

541

祝 禱

次週予告 (4月11日) 復活節第二主日礼拝

司会 武田 姉 奏楽 安倍 姉

招詞 詩編 33 編 1 節

讃美歌 156 (1, 4) 聖歌 127 (1, 3)

説教 主の顕現

聖書 ヨハネ 20 章 19~31 節

説教要約

先週、わたしたちは受難週を過ごしました。2月17日からレントに入り、主のご苦難と十字架の死を偲びつつ40日間を送りました。受難週は、とくに木曜日は洗足木曜日、ヨハネによる福音書13章は、イエス様が弟子たちの足を洗うところです。そして、最後の晩餐です。これはマタイ、マルコ、ルカの各福音書に記されています。主イエス様による新しい契約です。イエス様のおからだであるパンと十字架で流された血潮であるぶどうの盃をいただくのです。

さて、十字架上で死なれたイエス様は墓に葬られました。三日目の、週の初めの日の朝、復活なさったことが語られています。三日目というのは、足掛け三日目ですね。イエス様は金曜日の午前9時に十字架にかけられ、午後3時頃に息を引き取られました。ユダヤの暦では日没から一日が始まります。ですからイエス様の死からまもなく、日没になると二日目の土曜日、安息日が始まったのです。その日没前、安息日が始まる前に、アリマタヤのヨセフがピラトの許可を得て、急いでイエス様のご遺体を十字架から降ろし、亜麻布に包んでイエス様のご遺体を墓に納めたのです。

復活の最初の証人、マグダラのマリア

20章に入りますと、1節「週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た」とあります。

「そこでマリアはペトロのところとイエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って彼らに告げた」とあります。何を告げたのでしょうか。

2節の後半です。

「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません」

すでに、マリはイエス様のおからだが消えていたのは分かっていたのです。しかし、マリアはまだイエス様が甦られたことを理解していなかったのです。

この20章の1節から18節までを何度も読んでいくと、ある一つのことが理解されます。それは、マリアの変化です。同時に、マリアはペトロとイエス様が愛しておられたもう一人の弟子に墓の中が空だと告げたにもかかわらず、二人は、理解していなかったのです。9節、10節を読むと、福音書はシンプルに記しています。「それから、この弟子たちは家に帰って行った」とあります。甦られたイエスさまは、ペトロともう一人の弟子にも墓では現れないままなのです。すなわち、マリアだけが甦りのイエス様を見、会話したのです。